

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

徳島文理大学 人間福祉学部(平成20年4月より保健福祉学部に変更)
看護学科 設置に係る設置計画履行状況報告書

注2

学校法人 村崎学園
平成21年5月1日現在

作成担当者

企画部

企画部長 カマ 鎌 タ 田 シン 真 ジョウ 城

電話番号 088-622-0097

F A X 088-626-2998

e-mail kikaku1@tokushima.bunri-u.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「 大学」

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 村崎学園

(2) 大学名

徳島文理大学

(3) 大学の位置

〒770-8514

徳島県徳島市山城町西浜傍示180番地

〒770-8560

徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)		
学部長	(イトウ ススム) 伊東 進 (平成19年4月)		
学科長等	(ヨシナガ スミコ) 吉永 純子 (平成20年4月)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 (19)

平成21年度に報告する内容 (21)

「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成18年度開設の場合（平成21年度までの4年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間福祉学部 (保健福祉学部) 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	- 年次人	320人	

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	(-)人 80	(-)人 80	(-)人 -	(-)人 -	1.35 倍	
	志願者数	(-)人 204	(-)人 289	(-)人 -	(-)人 -		
	受験者数	(-)人 196	(-)人 282	(-)人 -	(-)人 -		
	合格者数	(-)人 170	(-)人 220	(-)人 -	(-)人 -		
B	入学者数	(-)人 99	(-)人 118	(-)人 -	(-)人 -		
	入学定員超過率 B/A	(-)人 1.23	(-)人 1.47	(-)人 -	(-)人 -		

- (注) 1 ()内には，編入学の状況について外数で記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(())書きとするなどし，その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[-] 99	[-] 120	[]	[]	平成20年度入学者のうち，3名が年度途中で退学。 上記退学者のうち，2名が平成21年4月1年次に復学。
2年次		/	[-] 96	[]	[]	
3年次		/	/	[]	[]	
4年次		/	/	/	[]	
計		[-] 99	[-] 216	[]	[]	

- (注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 0 年度	計 [-] 0人	計 [-] 99人	[- %] 0.0 %
	うち平成 2 0 年度入学者 0人	うち平成 2 0 年度 99人	
	(主な退学理由)		
平成 2 1 年度	計 [-] 3人	計 [-] 217人	[- %] 1.4 %
	うち平成 2 0 年度入学者 3人	うち平成 2 0 年度 99人	
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 118人	
	(主な退学理由) ・家庭の事情 1人 ・進路変更 2人		
平成 2 2 年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成 2 0 年度入学者 人	うち平成 2 0 年度 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 人	うち平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
(主な退学理由)			
平成 2 3 年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成 2 0 年度入学者 人	平成 2 0 年度 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 人	平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	平成 2 3 年度 人	
(主な退学理由)			

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

< 人間福祉学部(保健福祉学部) 看護学科 >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
倫理学A	1・2後		2							
文学A	1・2後		2							
歴史学A	1・2後		2							
音楽A	1・2後		2							
美術A	1・2前		2							
法学A	1・2前		2							
心理学A	1・2前		2							
社会学A	1・2後		2							
教育学A	1・2前		2							
経済学A	1・2前		2							
情報処理	1・2前		2							
数学A	1・2後		2							
物理学A	1・2後		2							
化学A	1・2前		2		1					
応用生物学A	1・2前		2		1					
健康スポーツA 体育→スポーツA	1・2前		1 -2							名称変更・単位数変更(21)
健康スポーツB 体育→スポーツB	1・2後		1 -2							同上
英語A 英語A 英語A	1・2前 1・2後		1 -2 1							Semester制対応のため、名称変更・科目分割(21)
英語B 英語B 英語B	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
英語C 英語C 英語C	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
英語D 英語D 英語D	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
独語A 独語A 独語A	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
仏語A 仏語A 仏語A	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
伊語A 伊語A 伊語A	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
外国語総合科目A 外国語総合科目A 外国語総合科目A	1・2前 1・2後		1 -2 1							同上
総合科目	1・2後	1								

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	形態機能論 (呼吸・循環器官系)	1前	2			1					
	形態機能論 (神経・生殖器官系)	1前	1			1					
	形態機能論 (消化・内分泌器官系)	1後	2			1					
	形態機能論 (運動・感覚器官系)	1後	1			1					
	病理学	1前	1			1					
	感染学	2前	1			1					
	疾病論 (呼吸・循環器官系疾病)	1前	2			1					
	疾病論 (神経・生殖器官系疾病)	1前	1			1					
	疾病論 (消化・内分泌器官系疾病)	2後	2			1					
	疾病論 (運動・感覚器官系疾病)	2後	1			1					
	生化学	1前	1								
	薬理学	2後	1			1					
	栄養学	2前	1								
	免疫学	2後	1			1					
	公衆衛生学	1後	2			1					
	情報処理・統計学	2前	1								
	保健福祉行政概論	2前	2								
	学校健康保健論	2前	1								
	産業健康保健論	2前	1								
	情報処理・統計学演習	2後		1							
	ボランティア活動論	1後		1							
	看護学概論 (総論)	1前	2			1					
	看護学概論 (健康概念)	2前	1			1					
	看護技術 (診断)	1後	1					1			
	看護技術 (内科的治療)	2前	1					1			
	看護技術 (外科的治療)	2前	1			1					

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護理論	1後	1			1					
看護過程論	1前	1			1					
ヘルスアセスメント論	2前	1					1			
看護栄養管理論	3後		1		1					
援助的人間関係論	2後	1					1			
基礎看護学実習 (触れ合い)	1前	1			1		1			5
基礎看護学実習 (援助)	2後	2			1		1			5
在宅看護学概論	3後 1後	2			1					
在宅看護援助論	3後	2					1			
在宅看護学実習	4前	2			1		1			1
地域看護学概論	1後	2			1					
地域看護援助論	3後	2					1			
ケアマネジメント論	3後		2							
ケアシステム論	4後		2							
家族看護論	3後 4後	2			1					
地域看護学実習	4前	4			1		1			1
精神看護学概論	2前	2					1			
精神衛生保健論	2後	2					1			
精神看護学実習	3前	2					2 1			1
成人看護学概論	1前	2			1					
急性期看護援助論	2後	2			1					
慢性期看護援助論	2前	2			1					
周手術期ケア論	2後		1				1			
急性期看護学実習	3前	2			1		1	1		3
慢性期看護学実習	3前	4			1		1	1		3
高齢者看護学概論	1後	2			1					
高齢者看護援助論	2前	2					1			
高齢者看護学実習	3前	4			1		1	1		3
母性看護学概論	1後	2					1			
母性看護援助論	2前	2					1			
母性看護学実習	3前	2				1	2	1		1
助産学総論	2後	1				1				
周産期ケア論	3後		2				1			
助産診断技術学 (妊娠期)	2後		2				1			

専門科目

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	助産診断技術学 (分娩・産褥期)	3後		2				1			
	助産管理学	4後		1			1				
	助産学実習	4後		10			1	2	1	1	
	小児看護学概論	1後	2			1					
	小児看護援助論	2後	2					1			
	小児ケア論	2前		1				1			
	母児保健関係論	2後		1				1			
	小児看護学実習	3前	2					1	1	1	
	看護システム論	2前	2					1			
	看護サービス論	4後	1					1			
	看護政策論	3後		1				1			
	看護教育論	2前		2							
	リスクマネジメント	4後	1			1					
	看護管理実習	4前	1			1	1		1	5	
	看護倫理学	1前	1			1					
	臨床看護実践演習	4通	4			4	2	6	2		
	臨床心理概論	4後		1							
	臨床薬理学	4後		1		1					
	在宅医療論	4前		1							
	チーム医療論	3後	1								
	がん看護論	4後		1		1					
	糖尿病看護論	4後		1		2					
	医療経済論	2前		1			1				
国際看護活動論	2後		1			1					
救急救命看護論	4後		1		1						
健康管理概論	4前		1								

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 科目	看護研究セミナー	3後	2			4	1	6 -5-			
	看護研究セミナー	4通	3			4	1	6 -5-			
関連 分野	養護概説	1前		2							養護教諭1種免許状取得のため、科目を追加(21)
	健康相談活動	1後		2							同上

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 65	科目 48	科目 0	科目 113	科目 65 [0]	科目 59 [11]	科目 0 [0]	科目 124 [11]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
該当なし						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
該当なし						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし						
------	--	--	--	--	--	--

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を朱書きで見え直し修正するとともに, その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお, 昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については, 黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後, 審査を受ける場合には, 「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, []内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)
- 5 「(3) 未開講科目」は, 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は, 認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

7 その他全般的事項

<人間福祉学部(保健福祉学部) 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 看護学科FD委員会を組織した。学科長を委員長とし，3名で構成する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 看護学科FD委員会を月1回程度開催
- ・ 参加委員3名

c 委員会の審議事項等

- ・ 授業の相互参観計画
- ・ ポートフォリオの活用
- ・ 授業評価の活用

実施状況 実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- ・ 相互参観による研究授業及び授業研究会実施
- ・ 学生による授業評価の研究
- ・ 各科目の授業内容の精選を目的とした研究
- ・ ポートフォリオ（学習ポートフォリオ）の研究
- ・ その他

b 実施方法

- ・ 授業の相互参観を年間1人1回実施する。
- ・ 相互参観の後，授業研究会を実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 看護学科専任教員16名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生による評価をもとに，教員の「ふりかえり表」を作成し，学生に開示する。
- ・ 授業の相互参観により，教授方法改善の確認（例：配付資料の工夫，教授技術，授業の目標の明確化等）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 「基礎看護学実習（触れ合い）」（平成20年度実施）の総括（別添資料5）
- ・ 平成20年度の教育・研究活動の成果の概要をまとめ、「教育・研究年報 2008年」を発行する予定で、学部編集委員会で編集中である。
- ・ 学生が実施した各科目担当者に対する授業評価を、科目担当者が考察し、自分自身を振り返るとともに、学生観にも役立て、以後の授業に反映するようにした。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成21年9月 発刊予定

b 公表方法

- ・ 刊行物として発行

認証評価を受ける計画

- ・ 平成22年度に評価機関（高等教育機構）の評価を受けるべく準備中である。

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成21年3月30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.bunri-u.ac.jp/bunri/exhibition/01.pdf>)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成21年3月30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.bunri-u.ac.jp/bunri/exhibition/02.pdf>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「 」及び「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。